

# 製品安全データシート

整理番号 nagasakibb-21  
作成 2017年8月

## 1. 製品及び会社情報

製品名 くみあい粒状配合 NKC3号  
会社名 全国農業協同組合連合会 肥料農薬部  
住所 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F  
TEL 03-6271-8285  
FAX 03-5218-2536  
E-mail [zz\\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp](mailto:zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp)

推奨用途及び使用上の制限 肥料

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

|                 |          |
|-----------------|----------|
| 急性毒性(経口)        | 区分4      |
| 目に対する重篤な損傷性/刺激性 | 区分2B     |
| 特定標的臓器毒性(単回暴露)  | 区分2(神経系) |
| 特定標的臓器毒性(反復暴露)  | 分類できない   |
| 水性環境有害性(急性)     | 区分3      |
| 水性環境有害性(長期間)    | 区分3      |

### GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語

警告

危険有害性

飲み込むと有害  
眼刺激  
重篤な眼の損傷  
臓器(神経系)の障害のおそれ  
水生生物に有害  
長期的継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしないこと。  
取扱い後は、手をよく洗うこと。  
保護眼鏡/保護面を着用すること。  
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
環境への放出を避けること。

救急措置

飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。  
口をすすぐこと。  
暴露、または気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。  
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。

|   |  |
|---|--|
| 保管  | 施錠して保管すること。  |
| 廃棄  | 内容物/容器を関連する規則に従って廃棄すること。   |
| GHS分類に該当しない他の危険有害性<br>経口毒性は低いが、血液への注入はなかり強い毒性を示す。 |  |
| <b>3. 組成及び成分情報</b>                                |  |
| 化学物質・混合物の区別                                       | 混合物  |
| 化学名又は一般名  | 塩化アンモニウム Ammonium Chloride   |
| 成分及び含有量   | アンモニア性窒素(AN) 18% (成分表示は保証成分に限る)<br>水溶性加里(WK) 16%                         |
| 濃度又は濃度の範囲(含有率)                                    | 65%以上  |
| 化学特性(化学式等)  | NH <sub>4</sub> Cl   |
| 官報公示整理番号  | 化審法 1-218<br>安衛法 公表化学物質  |
| CAS No.   | 12125-02-9   |
| <b>4. 応急措置</b>                                    |  |
| 吸入した場合  | 一般に粉じんとして吸入され、粘液中に溶けて弱い酸性を示し粘膜を刺激するので、口腔内、鼻腔内を水で洗浄する。                    |
| 皮膚に付着した場合   | 汗に溶けて皮膚を刺激するので、水で丁寧に洗浄する。  |
| 目に入った場合   | 弱い酸性であるので、多量の清水で丁寧に15分以上洗眼する。また、必要に応じ医師の手当てを受ける。                         |
| 飲み込んだ場合   | 多量に飲用すると、吐き気、嘔吐、アシドーシスを起こすので、直ちに水を飲んで薄め吐き出させるとともに医師の手当てを受ける。             |
| 急性症状  | データなし  |
| 遅発性症状   | データなし  |
| 応急処置を行う者の保護                                       | 「8 ばく露防止及び保護措置」の項に記載の適切な保護具を着用する。  |
| <b>5. 火災時の措置</b>                                  |  |
| 消火剤   | 不燃性であるので、消火剤は周辺火災に適合したものを使用する。   |
| 使ってはならない消火剤                                       | 該当なし   |
| 特有の消火方法   | 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。  |
| 特有の危険有害性  | 該当なし   |
| 消火を行う者の保護   | 「8 ばく露防止及び保護措置」の項に記載の適切な保護具を着用する。  |
| <b>6. 漏出時の措置</b>                                  |  |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置                             | 粉じんを吸入しない様にする。漏えいした箇所の修理その他の作業に当たる者は、保護眼鏡、保護袋、保護長靴、保護衣、安全帽等の必要な保護具を着用する。 |
| 環境に対する注意事項  | 洗浄液は窒素を含有しているので下水、河川に直接流さず、廃棄上の注意事項を守ること。                                |
| 封じ込め及び浄化方法・機材                                     | 飛散物は箒等で掃き集め、容器又はポリ袋に回収する。回収終了後、水で洗い流す。                                   |
| <b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>                             |  |
| 取扱い   |  |
| 技術的対策<br>(局所排気・全体換気等)                             | 換気の良い場所で取り扱う。  |
| 安全取扱い注意事項   | 体に触れて薬傷を起こさないよう作業員は必ず必要な保護具を着用し、かつ作業場付近に十分な水を用意する。                       |
| 接触回避  | アルカリ、青酸との接触を避ける。   |
| 衛生対策  | 休憩場所には手袋等の汚染された保護具を持ち込んではいけません。  |
| 保管  |  |
| 安全な保管条件   | 吸湿性が大きいので、高温多湿を避け地面に直接置かない。開封後は密閉して保管する。                                 |
| 安全な容器包装材料   | 銅及び銅を含む合金(真ちゅう等)以外のもの  |

|   |  |
|---|--|
| <p>8. 暴露防止及び保護措置</p> <p>設備対策<br/>管理濃度<br/>許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)<br/>日本産業衛生学会(2014年版) 該当なし<br/>ACGIH(2014年版)</p> <p>保護具<br/>呼吸器用の保護具<br/>手の保護具<br/>眼の保護具<br/>皮膚及び身体の保護具</p> | <p>作業場に手洗い場を設ける。<br/>設定なし<br/>TWA(8h) 10mg/m<sup>3</sup>(ヒューム)</p> <p>防塵マスク<br/>ゴム手袋<br/>安全眼鏡<br/>粉が浸透しない素材のものを着用する。</p>   |
| <p>9. 物理的及び化学的性質</p> <p>物理的状态<br/>形状<br/>色<br/>臭い<br/>ph<br/>融点<br/>沸点<br/>引火点<br/>燃焼又は爆発範囲<br/>蒸気圧<br/>蒸気密度<br/>比重<br/>溶解度<br/>n-オクタノール/水分配係数<br/>自然発火温度<br/>分解温度</p>    | <p>安定<br/>粒状<br/>白色、赤色<br/>無臭<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし</p>  |
| <p>10. 安定性及び反応性</p> <p>反応性<br/>化学的安定性<br/>危険有害反応性可能性</p> <p>避けるべき条件<br/>混触危険物質<br/>危険有害な分解生成物</p>   | <p>通常では安定な物質であるが、混合すると危険な物質が数種ある。<br/>該当なし<br/>アルカリ添加によりアンモニアガスを発生する。硝酸アンモニウム、三弗化臭素、七弗化沃素、塩素酸カリウムと激しく反応し、大気中で加熱すると分解し、酸化窒素、塩酸ガス、アンモニアガス等の有害ガスを発生する。また、青酸と反応して爆発しえの三塩化窒素を生成する。<br/>銅及び銅を含む合金(真ちゅう等)との接触<br/>アルカリ、青酸<br/>強熱すると分解して有害ガスを発生する。</p>   |
| <p>11. 有害性情報</p> <p>急性毒性</p> <p>皮膚腐食性・刺激性<br/>眼に対する重篤な損傷・刺激性<br/>呼吸器感作性又は皮膚感作性<br/>生殖細胞変異原性<br/>発がん性<br/>生殖毒性<br/>特定標的臓器毒性<br/>単回暴露</p> <p>反復暴露</p> <p>吸引性呼吸器有害性</p>      | <p>LD50(ラット 経口) 1,650mg/kg<br/>LD50(ラット 筋肉注射) 30mg/kg<br/>LD50(ラット 腹腔) 1,439mg/kg<br/>皮膚をわずかに刺激する。<br/>うさぎ 500mg/24h 強い刺激</p> <p>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>経口投与により、ラットでは1,000mg/kg bw 以上で呼吸困難、無関心、姿勢異常、よろめきの症状、マウスでは1,200mg/kg bw 以上で下痢、チアノーゼ、失調性歩行が観察されている。長期間(6ヶ月)摂取による(代謝性)アシドーシス発祥の症例など、アシドーシスに関する複数の報告あり。<br/>データなし</p> |

|   |   |
|---|---|
| <p>12. 環境影響情報</p> <p>生態毒性<br/>残留性・分解性<br/>生体蓄積性<br/>土壌中の移動性<br/>水生環境有害性(急性)<br/><br/>水生環境有害性(長期間)<br/><br/>オゾン層への有害性<br/>他の有害影響</p>   | <p>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>データなし<br/>魚類(ブルーギル)の96時間LC50=74.2mg/L(ECETOCTR91、2003)から、区分3とした。<br/>急性毒性が区分3、水中での挙動及び生物蓄積性が不明であるため、区分3とした。<br/>該当なし<br/>アンモニウムイオンは植物の栄養源の一つであり、富栄養化の原因となるので閉鎖系水域の湖沼に流入する排水については、水質汚濁防止法で排水基準が制定されている。</p> |
| <p>13. 廃棄上の注意</p> <p>廃棄方法<br/><br/>容器</p>   | <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の関係法令を遵守し、適切な処理業者に委託する。<br/>汚染容器・包装は製品をよく払い落とした後、一般の法規に従い廃棄する。</p>  |
| <p>14. 輸送上の注意</p> <p>国際規制<br/>国連番号:<br/>品名(国連輸送品名)<br/>国連分類<br/>容器等級<br/>MARPOL条約によるばら積み輸送される液体物質<br/>国内規制<br/>陸上輸送<br/>海上輸送<br/>航空輸送<br/>特別の安全対策<br/><br/>応急措置指針番号</p>   | <p>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>該当なし<br/>吸湿性があるため、水濡れに注意する。<br/>その他「取扱い及び保管上の注意」及び「漏出時の措置」の項参照<br/>該当なし</p>   |
| <p>15. 適用法令</p> <p>化学物質管理促進法<br/>毒物及び劇物取締法<br/>労働安全衛生法<br/><br/>水質汚濁防止法<br/>海洋汚染防止法</p>   | <p>適用なし<br/>適用なし<br/>法第57条、施行令第18条 別表第9 名称等を表示すべき危険物及び有害物<br/>法第57条の2、施行令第18条の2 別表第9 名称等を通知すべき危険物及び有害物<br/>法第57条の3 危険有害性を調査すべき危険物及び有害物<br/>有害物質(法第2条、施行例第2条、排水基準を定める省令第1条)<br/>有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)</p>                           |
| <p>16. その他の情報</p> <p>引用文献<br/>1) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP) GHS分類結果(分類実施日:2010.2.19)<br/>2) 日本産業衛生学会「産業医学」(2014)<br/>3) ACGIH化学物質と物理因子のTLV、化学物質のBEI(2014)<br/>4) セントラル化成(株)測定値<br/>5) 「第7版食品添加物公定書解説書」(1999)<br/>6) RTECS(Registry of Toxic Effects of Chemical Substances)<br/>7) Sax's Dangerous Properties of Industrial Materials, 8th Edition, 1992<br/>8) 製品評価技術基盤機構(NITE)GHS再分類結果(再分類実施日:平成21年)</p> |   |

(免責事項)

- ・この安全データシート(SDS)は、発行時の弊社が知りうる最新情報に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分な情報ではない可能性があります。
- ・この安全データシート(SDS)は、製品に対する通常の取り扱いを対象としたものであり、他の化学品と組み合わせる使用方法等、特殊な取り扱いの場合には、その使用条件に適した安全対策を実施のうえ、製品の取り扱いをお願いします。
- ・この安全データシート(SDS)は、情報提供を目的としており、いかなる保証をするものでもなく、当該情報の使用により生じた損害について、一切責任を負いません。

本SDSは、下記くみあい肥料株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください

|       |                |
|-------|----------------|
| 会社名   | くみあい肥料株式会社     |
| 住所    | 長崎県諫早市栄田町8番23号 |
| 電話番号  | 0957-26-3122   |
| 緊急連絡先 | 0957-26-3122   |
| FAX番号 | 0957-26-4290   |